

STR オンデマンドインカム

特定小電力トランシーバー

SRFD51 (スタンダードアンテナ)

SRFD55 (スタンダードアンテナ)

SRFD51-L (ロングアンテナ)

SRFD55-L (ロングアンテナ)

EN032U001 (2402a-CS)

取扱説明書

本機の特徴 EX オペレーティングシステム

2つのチャンネル (A-ch と B-ch) を使って連絡を円滑におこなう (STR オンデマンド)

デュアル受信方式のSRFD51/SRFD55は、A-chとB-chのどちらかのチャンネルが通話に使われていても、もう片方のチャンネルで通話ができますので、緊急時スピーディに効率的な連絡を行うことができます



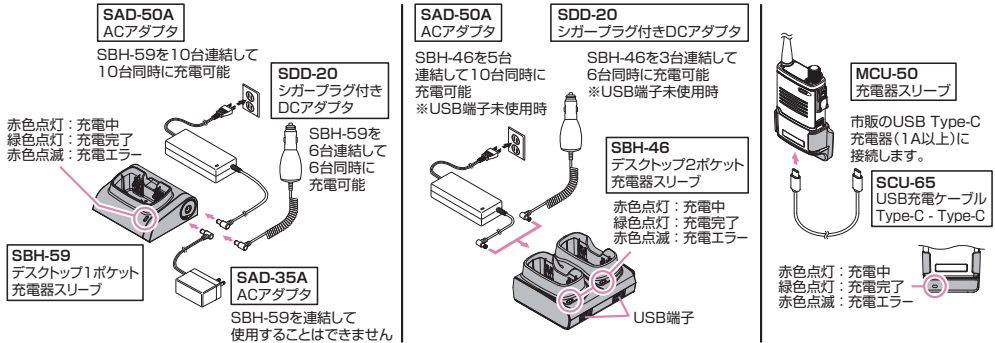
混信があってもメンバー全員がチャンネルを自動で移動 (テレポート機能)

SRFD51/SRFD55は合計8チャンネル (2つの通話チャンネルA-ch/B-chと、6つの予備チャンネルT1～T6)の中から、2つの通話チャンネル (A-chとB-ch) を使って通話を行い、6つの予備チャンネルを準備しています。混信が起きたときは一人がテレポートキーを押せば、メンバー全員が混信が起りにくい予備チャンネルへ自動で移動して通話続けることができます

現場の電波状況を分析して混信が起りにくいチャンネルを準備する (エリアリサーチ機能)

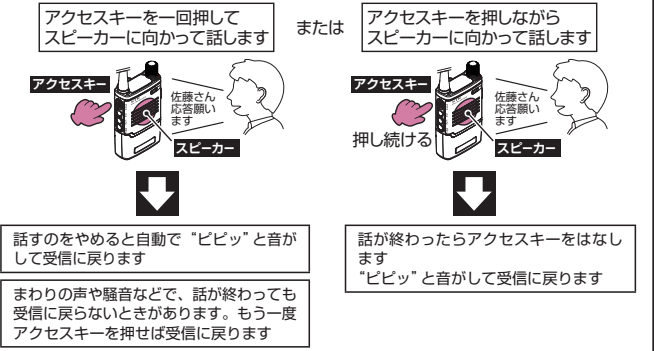
エリアリサーチ機能は、あらかじめそのエリアの電波の混み具合を分析しA-ch、B-ch、T1～T6の全てのチャンネルを混信の少ないチャンネルに設定することができます

充電をする (充電時間は約3時間)



●使用可能時間：20 時間以上 (交互通話、送信6秒、受信6秒、待ち受け48 秒の繰り返し運用を想定)

送信するとき



受信するとき

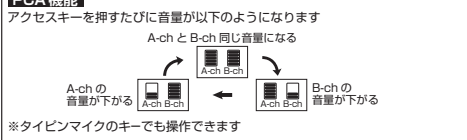


各部の説明

アクセスキーの操作

送信する時に押します
ワンクリック ハンズフリーオペレーション
短押し：送信状態になり、話している間はキーを押さなくても送信を続け、話をやめるか、再度アクセスキーを押すと受信に戻ります
長押し：押している間は送信を続け、放すと受信に戻ります
※イヤピースやスピーカーマイクを接続している時は、送信中に「ブッ…ブッ…」と音が鳴って送信状態であることがわかります
※タイミンマイクを使用時に、誤って送信 / 受信が切り替わらないようにアクセスキーを無効にすることができます
機能設定項目 **F-06** を “oFF” にしてください
アクセスキーは機能設定項目 **F-01** で好みにあわせて操作方法を変えることができます

受信中に2つの音声が同時に聞こえたときは、音声を聞きながらアクセスキーを押すと片方の音量を調節することができます

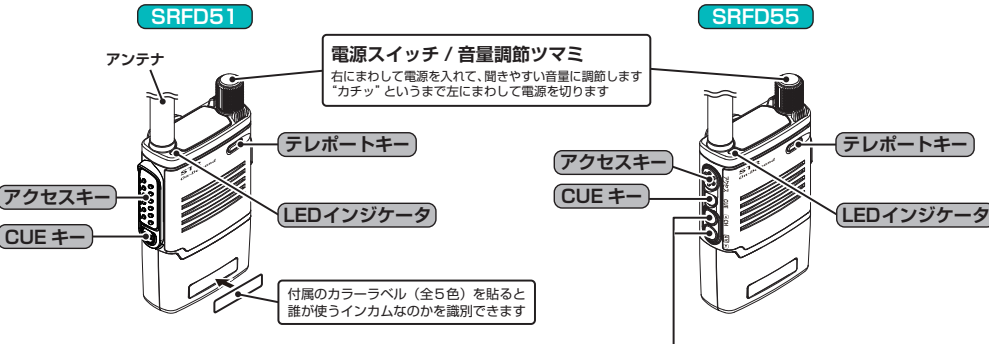


CUE キーの操作

構内アナウンスする
CUE キーを押しながら話すと、中継器 EXR100A や構内アナウンス用ワイヤレススピーカ PSU10 のスピーカから音を出すことができます。構内アナウンスで使うときはあらかじめ、機能設定項目 **F-21** を “oN” にしておきます
中継器使用時に中継器を使わずに通話をする
ローカル通話機能
中継器を使用して通話を行っているときでも、CUE キーを押しながら話すと近くにいるメンバーと中継器を使わないローカル通話ができます。ローカル通話機能は、アクセスキーを押すと中継チャンネル (A-ch) で送信、CUE キーを押すとローカル通話チャンネル (B-ch) で送信します
・ローカル通話機能を使う時はあらかじめ、機能設定項目 **F-17** を “RPF+” または “RP+” にしておきます

テレポートキーの操作

混信がある時に長押しします
メンバー全員が混信が起りにくいチャンネルへ自動で移動します
・他のメンバーと通話ができない時は、自分のチャンネルが同期されていない場合がありますので、テレポートキーを短押しします
・特定のメンバーとだけ通話ができない場合は、そのメンバーのチャンネルが同期されていない場合がありますので、CUE キーとテレポートキーを同時に押します



チャンネルの表示

A-ch表示例 (05ch) B-ch表示例 (10ch) チャンネル非表示例
チャンネルを非表示にしている時は“A”または“B”だけが表示されます
SRFD55でチャンネルを表示する時は、インカム側面の **[A/B]** キーを長押しします
SRFD51でチャンネルを表示する時は、機能設定項目 **F-24** を “o n” にしてください

LED インジケータ

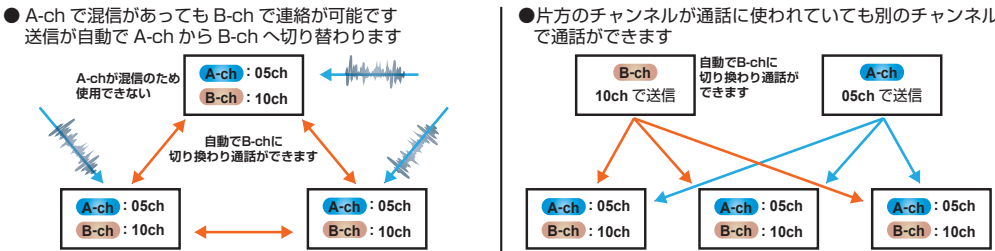
赤点灯：送信中
赤点滅：グループID およびテレポート機能設定を変更中
ホットライン送信中および受信中
緑点灯：受信中
緑点滅：異なるグループID 番号の信号を受信したとき (音声はミュートになっています)
赤と緑の点滅：エリアリサーチ機能動作中
オレンジ点滅：構内アナウンス機能送信中
個別の設定を変更中
赤の速い点滅：チャンネルが使用中で送信できないとき

バッテリーの残量表示

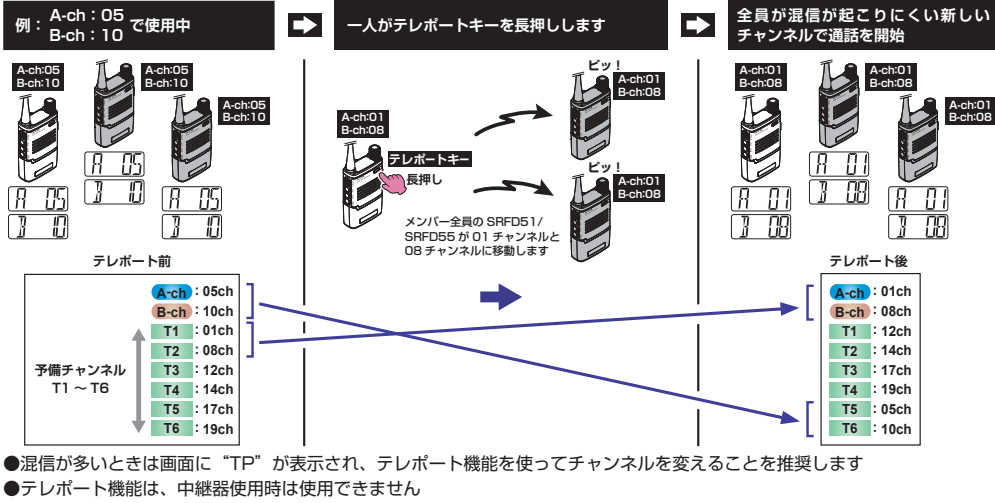
残量表示 (満充電時は表示されません)
表示し 多い 少ない
バッテリー使用可能時間の目安 20時間以上
単信方式 (交互通話) で、送信6秒：受信6秒：待ち受け48秒の繰り返しによる運用を想定

便利な機能

デュアル受信 (A-ch と B-ch) で連絡を円滑に行う (STR オンデマンド)

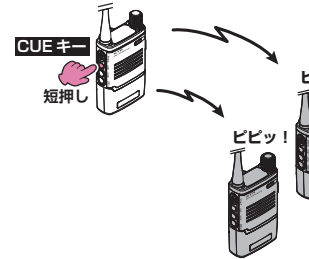


混信がある時にテレポートキーの長押しで A-ch、B-ch のチャンネルを自動で予備チャンネルと入れ替える (テレポート機能)



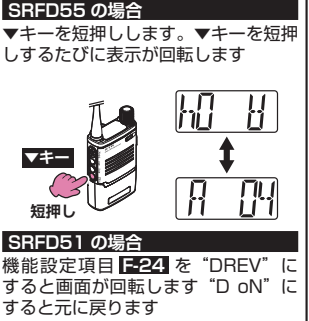
CUE (キュー) 機能でメンバーに合図を送る

CUE キーを短押しすると、メンバー全員にアラームを鳴らして合図を送ることができます



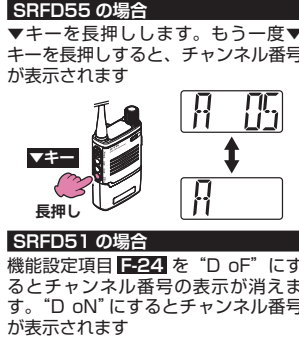
画面の表示を180度回転させる

インカムをベルトに取り付けている場合に、画面の表示を回転させて見やすくすることができます



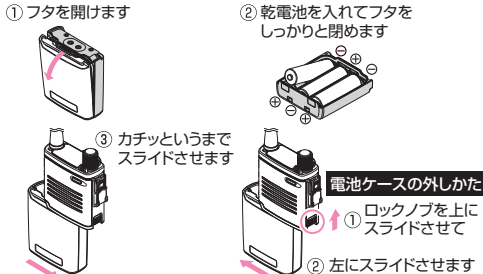
チャンネル表示を消す

チャンネル番号の表示を消すことができます

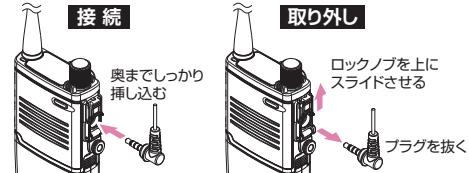


単三型アルカリ乾電池で使う

アルカリ乾電池3本で使用することができます (オプションの“SBT-18” が必要です)

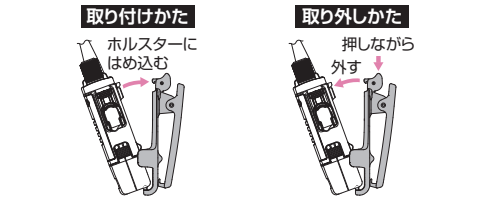


タイピンマイク、イヤピースプラグの接続 / 取り外し

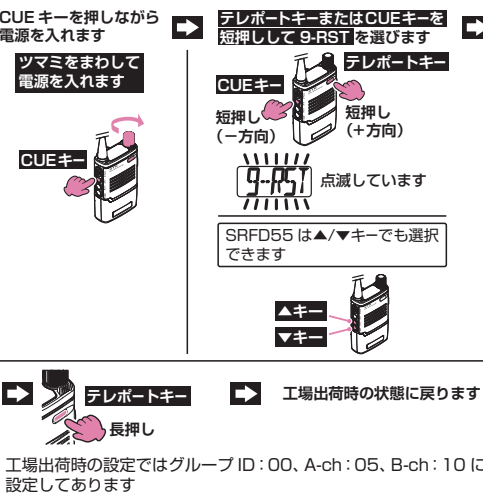


タイピンマイクやイヤピースは、当社純正オプションを使用してください。当社純正品以外のオプションによる故障や破損、事故などの損害については、弊社では一切責任を負いかねます

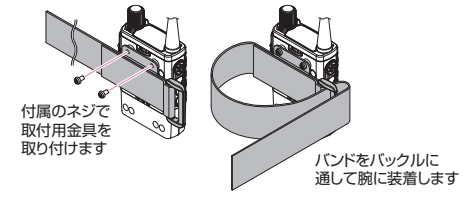
クイックリリースホルスターの使いかた (SBH-33 (SBR-51Li 対応)、SBH28 (SBR-42Li 対応))



正常に動かない時は、工場出荷時の状態に戻す (リセット)



アームバンドの使いかた (SHA-10)



定格

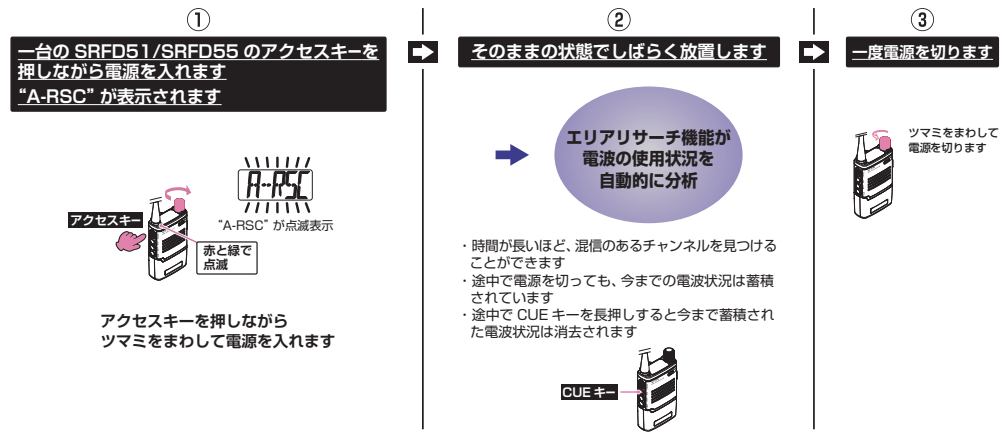
送受信周波数 (12.5kHz ステップ)
交互通話 (単信) 422MHz 帯 (20ch)
中継通話 (半複信) 421MHz 帯 / 440MHz 帯 (27ch)
電波型式
F3E、F2D
通信方式
単信方式および半複信方式
送信出力
10mW 以下 / 1mW 以下
受信感度
- 15dBμV 以下 (@ 12dB SINAD)
低周波出力
内蔵スピーカ 700mW 以上 (@8 Ω、10% 歪時)
動作温度範囲
- 10℃ ~ + 50℃
定格電圧
DC 3.6V (リチウムイオンバッテリー)
DC 4.5V (単三乾電池3本)
寸法
約 58 (幅) × 83 (高さ) × 23.5 (奥行き) mm
(SBR-51Li 装着時、アンテナおよび突起部を含みます)
重量
約 165g (SBR-51Li 装着時)
防塵・防水
IP68*
この定格は性能向上のため予告なく変更することがあります
※ IEC (国際電気標準会議) に基づく粉塵や湿水に関する保護等級
防塵性：IP6X (耐塵形) 粉塵の侵入から完全に保護されていること
防水性：IPX8 (水中形) 真水 / 静水に水深 1.5m の位置で 30 分間浸しても機器の動作に影響をおよぼさないこと
RoHS 指令準拠

STR オンデマンドやテレポート機能の付いていないインカムでは、一部の機能が使えません

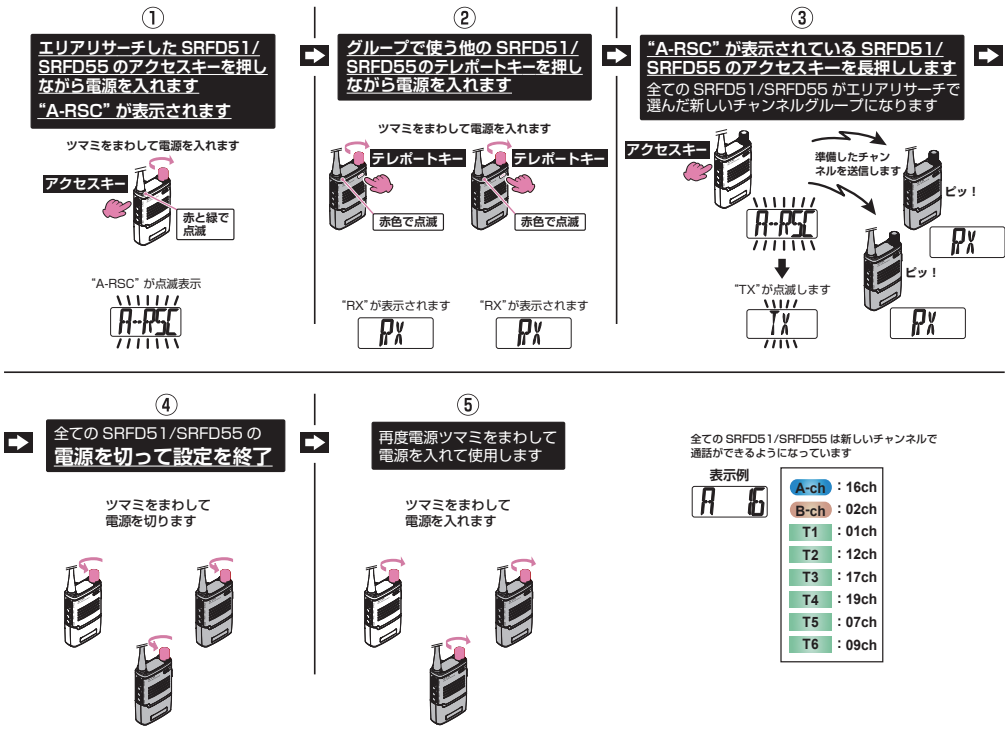
エリアリサーチ機能が準備した混信の少ないチャンネルへ移動する

エリアリサーチ機能は、全てのチャンネル（全 20 チャンネル）の電波状態を分析して、混信が起こりにくいチャンネルを準備します

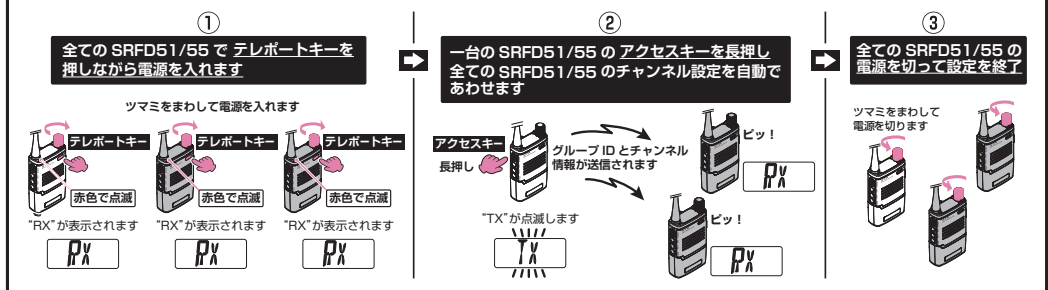
① 1 台の SRFD51/SRFD55 でエリアリサーチを始める



② エリアリサーチで準備した新しいチャンネルを他の SRFD51/S55 に移行する



もし通話ができないときは



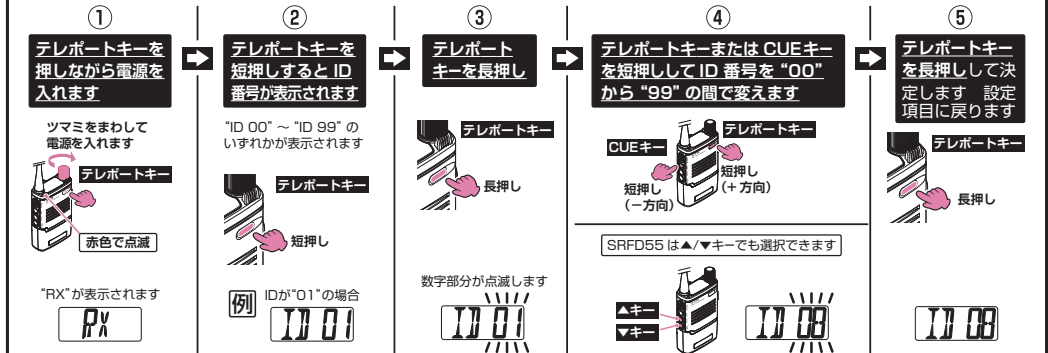
グループ以外の通話が聞こえる時はグループ ID を変える

グループ ID を使えば、ID が異なる他のグループの信号は自動でミュートされます。A-ch で混信を受けても自動で B-ch で混信を気にせずに通話することができます

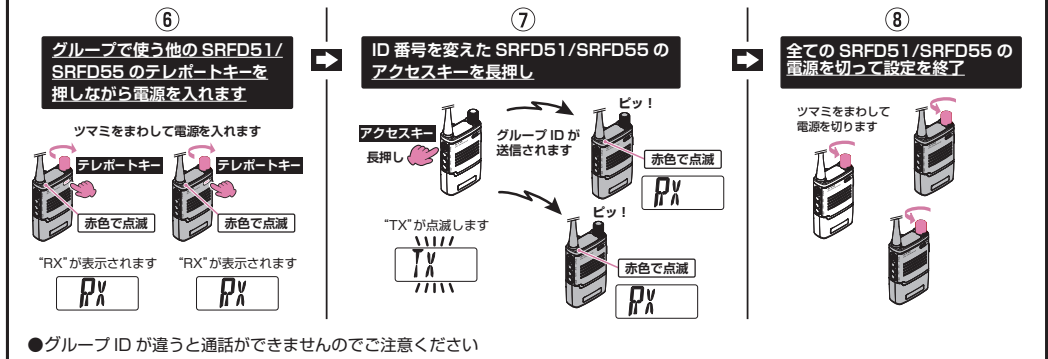


出荷時はグループ ID が "00" になっています。（他のグループの声が聞こえるような場合はグループ ID を変えてください）

1 台の設定内容を変更する



他の SRFD51/SRFD55 へ変更内容をコピー (エアクローン) する

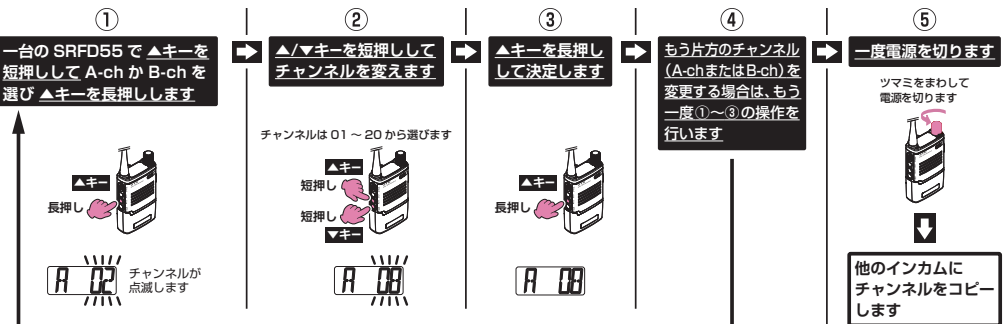


マニュアルで A-ch、B-ch のチャンネルを変える（通常は変更する必要はありません）

（チャンネルを変えた後は、他の SRFD51/SRFD55 に新しいチャンネルをコピー（エアクローン）するが個々に同じチャンネルを設定してください）

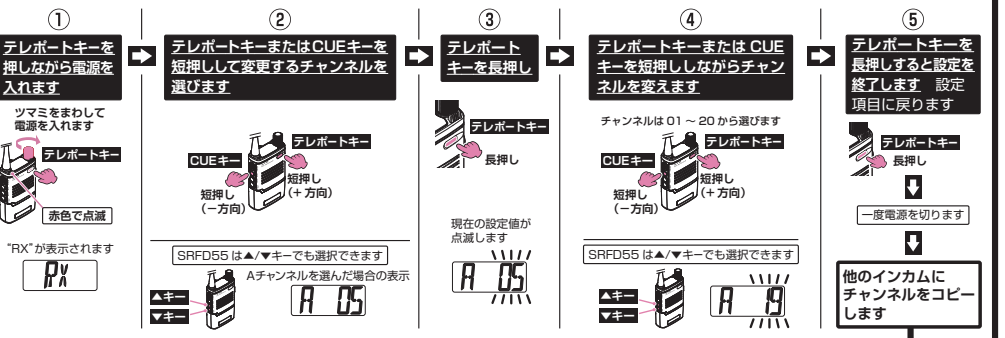
① ▲ / ▼ キーで A-ch、B-ch のチャンネルを変える（SRFD55 のみ）

1 台のチャンネルを変更する

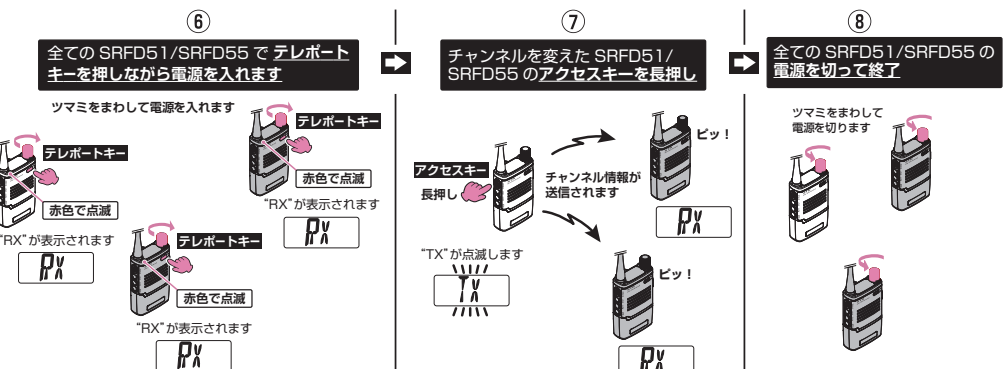


② テレポート機能設定で A-ch、B-ch のチャンネルを変える（SRFD51/SRFD55）

1 台のチャンネルを変更する



他の SRFD51/SRFD55 へ変更したチャンネルをコピー (エアクローン) する

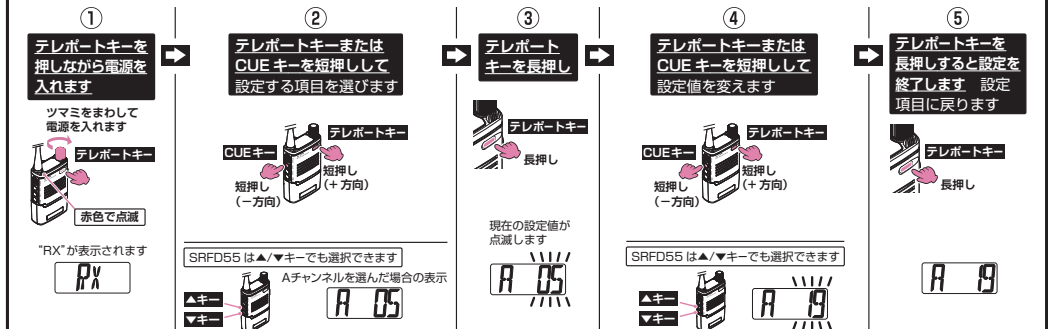


テレポート機能を変更する（通常は変更する必要はありません）

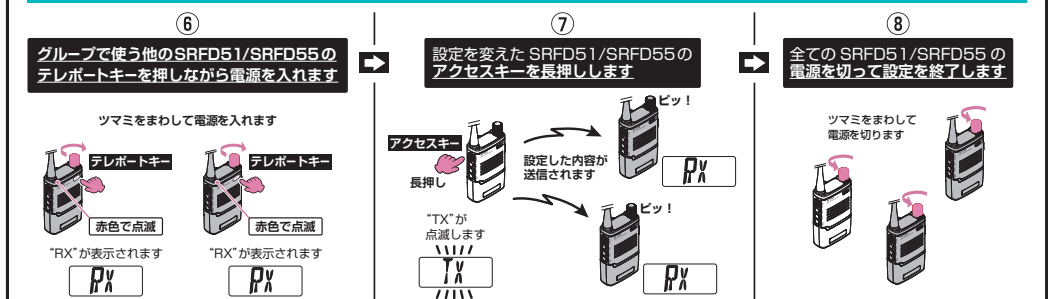
項目	出荷時の設定	機能
グループ ID	0000	同じグループであることを識別するための ID 番号を変えます。ID 番号が違えば通話できません。他のグループが同じ ID 番号を使っていると混信が起こる場合は、ID 番号を変えます
A チャンネル	A 05	2 つある通話チャンネルのうち "A-ch" のチャンネル番号を選びます
B チャンネル	B 00	2 つある通話チャンネルのうち "B-ch" のチャンネル番号を選びます
T1 ~ T6	T1 01 T2 12 T3 17 T4 19 T5 07 T6 09	"01" から "20" の予備チャンネルを個別に設定する時に使います。"T1" から "T6" にテレポート時に使う予備チャンネルを設定します
テレポート機能の ON/OFF	TP oN	テレポート機能を使うことができます（通常は oN で使用します） TP pX : テレポート機能は使えますが、自分からはチャンネル移動ができません TP oF : テレポート機能は動作しません。EX オペレーティングシステムが搭載されていないインカムとの通信ができます

1 台の設定内容を変更する

グループ ID、通話チャンネルの A-ch、B-ch、T1 ~ T6 の予備チャンネル、テレポート機能の ON/OFF を個別に変えることができます



他の SRFD51/SRFD55 へ変更内容をコピー (エアクローン) する



EX オペレーティングシステムが搭載されていないインカムとの通信

- テレポート機能の ON/OFF 設定の "TP oN" を "TP oF" にします
- A-ch または B-ch を他のインカムのチャンネルにマニュアルであわせさせます